

診療報酬調査専門組織（DPC評価分科会）座席表

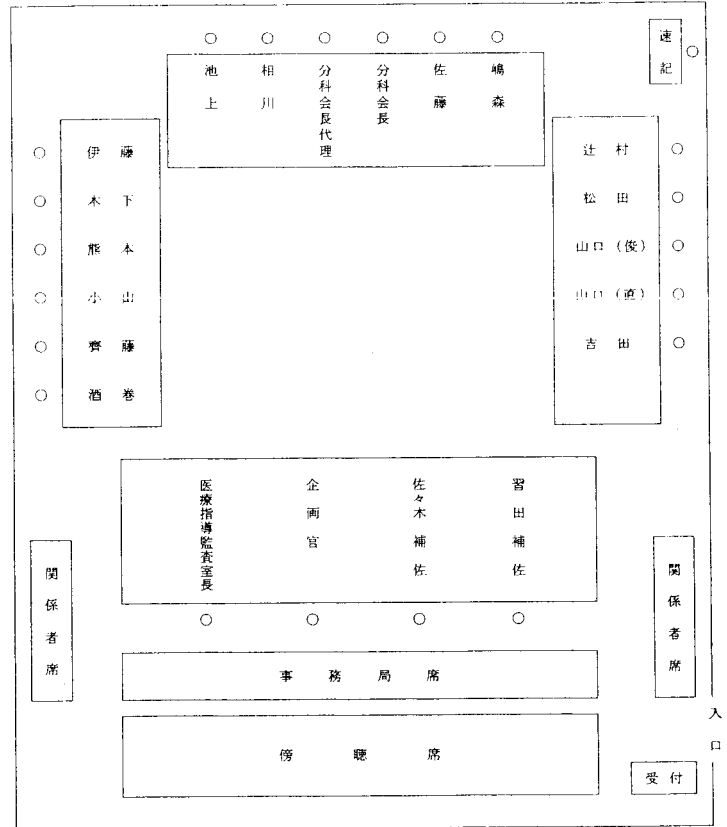
（日時）平成21年7月24日（金）15:30～17:30  
（会場）厚生労働省専用第21会議室（17階）

平成21年度 第8回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

日時：平成21年7月24日（金）15:30～17:30  
場所：厚生労働省専用第21会議室（17階）

議事次第

- 1 平成21年度DPC評価分科会における特別調査について
- 2 診断群分類点数表の見直しについて（案）
- 3 E・Fファイルの統合について
- 4 その他



診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会委員一覧

診調組 D-1  
21.7.24

<委員>

氏名	所属等
相川 直樹	財団法人国際医学情報センター理事長
池上 直己	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教授
伊藤 澄信	独立行政法人 国立病院機構本部医療部研究課長
木下 勝之	医療法人社団九折会 成城木下病院理事長
熊本 一朗	鹿児島大学医療情報管理学教授
小山 信彌	東邦大学医療センター大森病院心臓血管外科部長
齊藤 壽一	社会保険中央総合病院名誉院長
酒巻 哲夫	群馬大学医療情報部教授
佐藤 博	新潟大学教授・医歯学総合病院薬剤部長
嶋森 好子	慶應義塾大学看護医療学部教授
辻村 信正	国立保健医療科学院次長
難波 貞夫	富士重工業健康保険組合総合太田病院病院長
西岡 清	横浜市立みなと赤十字病院長
原 正道	横浜市病院事業管理者病院経営局長
松田 晋哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教授
山口 俊晴	癌研究会明病院消化器外科部長
山口 直人	東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学第二講座主任教授
吉田 英機	昭和大学医学部名誉教授

◎ 分科会長 ○ 分科会長代理

<オブザーバー>

氏名	所属等
遠見 公雄	赤穂市民病院名誉院長

平成21年度DPC評価分科会における特別調査について

（案）

- 1 経緯等  
本年5月20日の中協基本問題小委員会において、DPCに関する調査を補完し、適切な算定ルールの構築等について検討するため、平成20年度と同様に、当分科会において、医療機関からの意見交換（ヒアリング）を実施することとされた。
- 2 調査方法等  
平成20年度調査により得られたデータを基に、各調査項目に該当したDPC対象病院及びDPC準備病院に調査票を配布する。  
その調査票の回答内容等も踏まえ、当分科会において、ヒアリングを実施すべきと考えられる病院について、招集することとする。
- 3 調査項目  
(1) 再入院及び再転棟について  
平成20年度診療報酬改定により、同一疾患での3日以内の再入院については、1入院として取り扱う等の算定ルールの見直しを行った。  
その改定後に実施された、平成20年度再入院（再転棟）にかかる調査では、3日以内の再入院の割合は大幅に減少した一方で、4～7日以内の再入院の割合がわずかに増加していた。  
また、DPC対象病院及び準備病院において、慢性期の病床を併設している病院（いわゆる「ケアミックス型病院」）が増加しているが、こうした病院の一部では、一般病棟と療養病棟等の間で再転棟する症例が認められている。  
これらのことを踏まえ、以下に該当する病院へ調査を実施する。  
① 3日以内及び4～7日以内の再入院の割合について、他の病院と比べ大きな違いがある病院  
② 再転棟の割合が多い病院

(2) 診療内容等について

DPCでは、最も医療資源を投入した傷病名から、実施した手術や処置、また副傷病や重症度によって1つの診断群分類を選択（コーディング）しているが、診療内容に対し必ずしも適切でない選択（コーディング）が行われている例があるのではないかと指摘がある。

この他、医療の質や効率化、データの質等に関する事項について、以下に該当する病院に対し調査を実施する。

- ① 特定の診断群分類において、診療内容が他の医療機関と比べ大きく異なる病院
- ② 後発医薬品等の薬剤の使用状況が、他の医療機関と比べ大きく異なる病院
- ③ DPC導入前と導入後で、診療内容が大きく変化した病院
- ④ データの質に関して確認が必要であると思われる病院
- ⑤ その他

(3) その他

診断群分類点数表の見直しについて（案）

1. 経緯等

中医協・基本問題小委員会（平成21年3月25日）において、調整係数が段階的に廃止されるに当たり、包括評価点数の設定方法等の課題についても、DPC評価分科会において検討を行うこととされている。

2. 一日当たり点数の設定方法について

(1) 現状

現在、別紙1のとおり、診断群分類ごとの1日当たり平均点数及び平均入院期間、入院期間の25（5）パーセンタイル値を基に、点数の設定を行っている。

(2) 問題点

- ① 入院初期の医療資源の投入量が非常に大きい場合には、入院初期では、医療資源の投入量が診断群分類点数を大きく上回っていることがある。（別紙2-①、2-②）
- ② 入院期間を通じて1日当たり医療資源の投入量の変化が少ない場合には、入院期間IIにおいて、医療資源の投入量が診断群分類点数を上回っていることがある。（別紙3-①、3-②）

(3) 対応案

診断群分類点数表を、実際の医療資源の投入量にあったものとするため、入院初期の医療資源の投入量及び1日当たり平均点数に応じ、以下の通り設定することとしてはどうか。

ア 入院初期の医療資源の投入量が、1日当たり平均点数に比して、非常に大きい場合、（別紙4）

入院期間Iの点数：入院期間Iの1日当たり包括範囲出来高点数の平均

入院期間IIの点数：入院期間Iの点数及び1日当たり平均点数を基に、面積がA=Bとなるように設定

入院期間IIIの点数：入院期間IIの点数から15%減じた点数

イ 入院初期の医療資源の投入量が、1日当たり平均点数に比して、小さい場合、（別紙5）

入院期間Iの点数：点数の段差の設定を15%から10%に変更

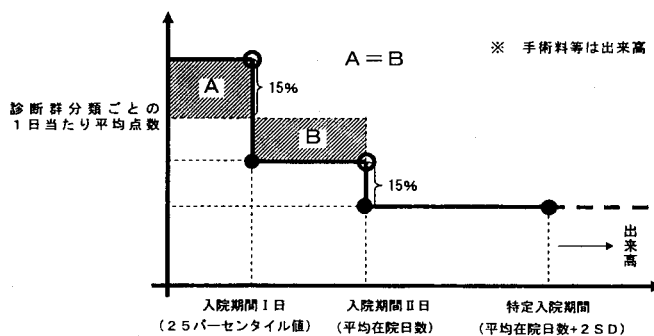
入院期間IIの点数：入院期間Iの点数及び1日当たり平均点数を基に、面積がA=Bとなるように設定

入院期間IIIの点数：点数の段差の設定を15%から10%に変更

ウ 他の場合、現行と同様の方法により点数表を設定する。

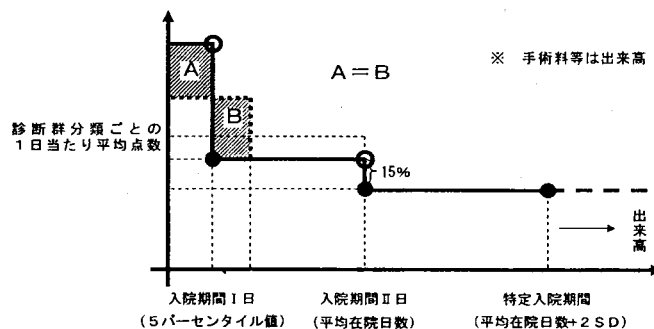
包括評価点数の設定方法について

(1) 通常の設定方法



- ※ 入院期間I日までは、診断群分類ごとの1日当たり平均点数に15%上乗せした点数。
- 入院期間I日からII日までは、入院期間I日までに上乗せした点数の合計と同じ合計点数となるように設定した点数を、診断群分類ごとの1日当たり平均点数から減じた点数。
- 入院期間II日から特定入院期間までの点数は、入院期間I日からII日までの点数から15%減じた点数。

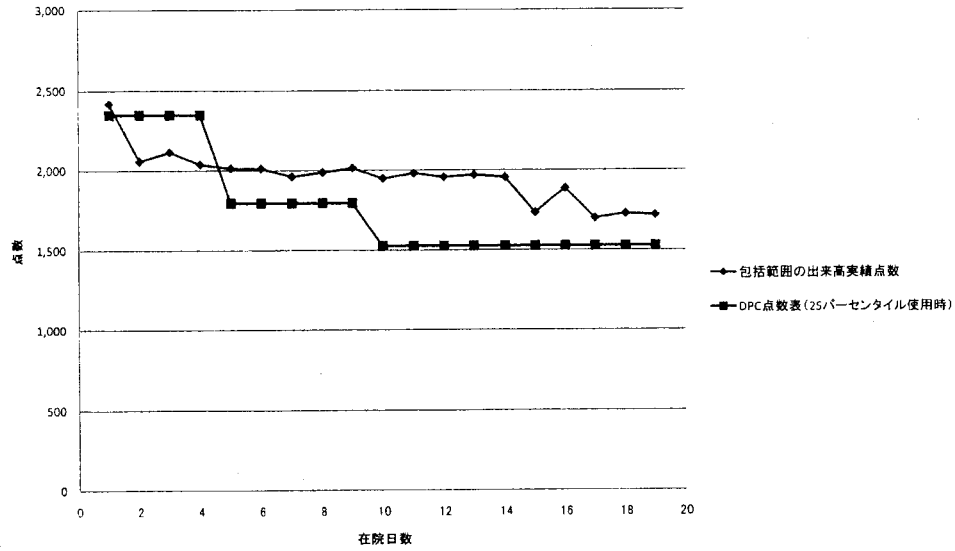
(2) 悪性腫瘍の化学療法の短期入院などに係る設定方法



- ※ 通常の設定方法で定めた点数を基に、入院期間I日を5パーセンタイル値に短縮し、25パーセンタイル値までの点数を、5パーセンタイル値までの点数に上乗せし入院期間I日までの点数を設定している。

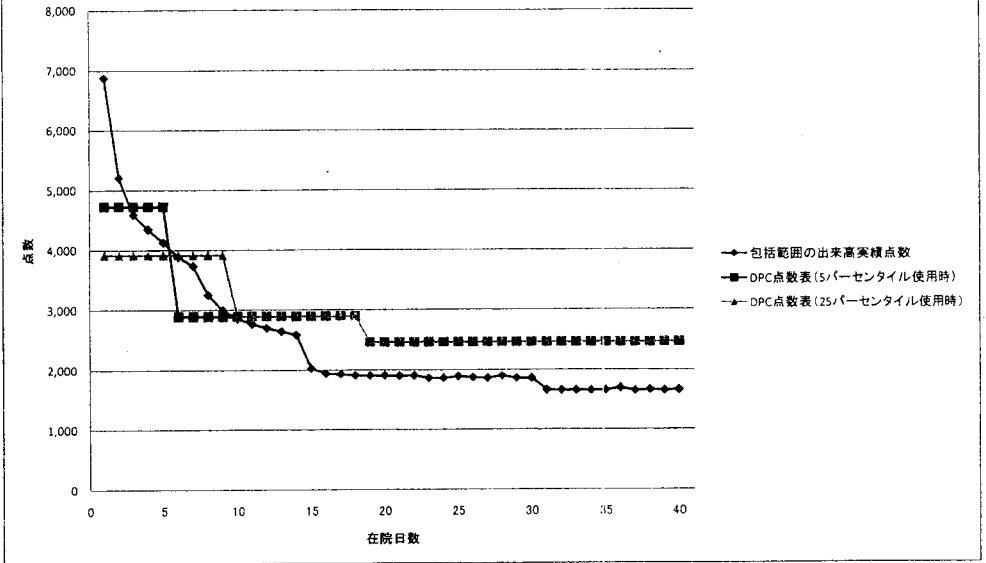
別紙3-①

020210xx97xxxx  
(網膜血管閉塞症 その他の手術あり)



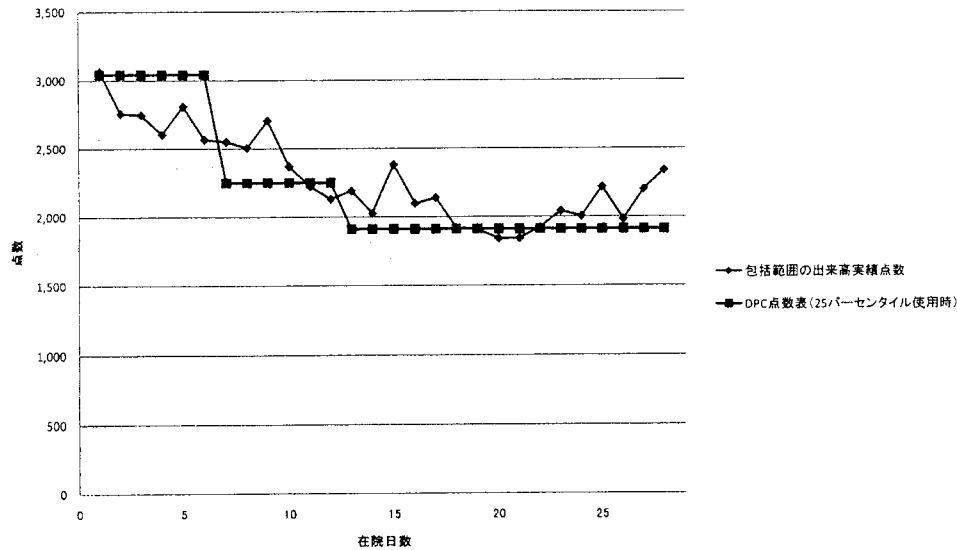
別紙2-①

010060x099x3xx  
(脳梗塞(JCS30未満) 手術なし 手術・処置等2 3あり)



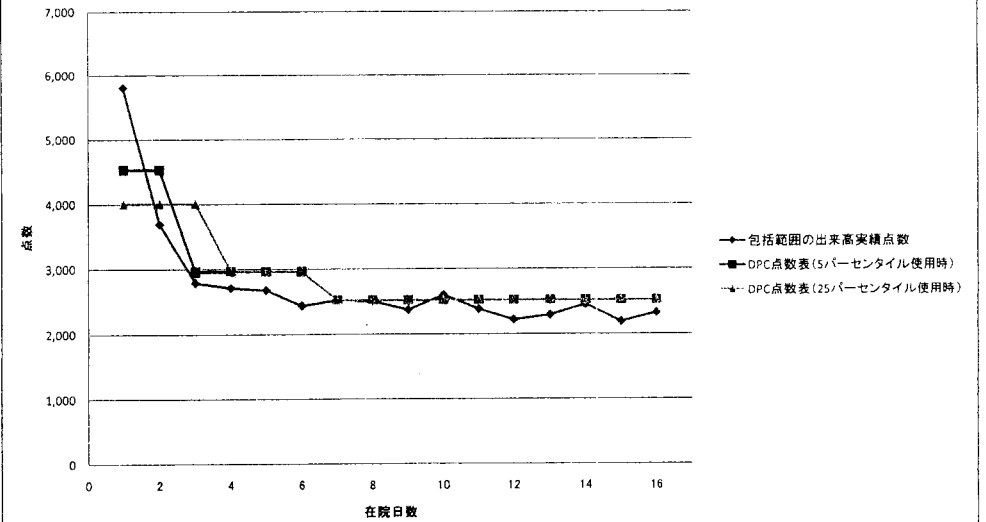
別紙3-②

040010xx97x0xx  
(縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2 なし)

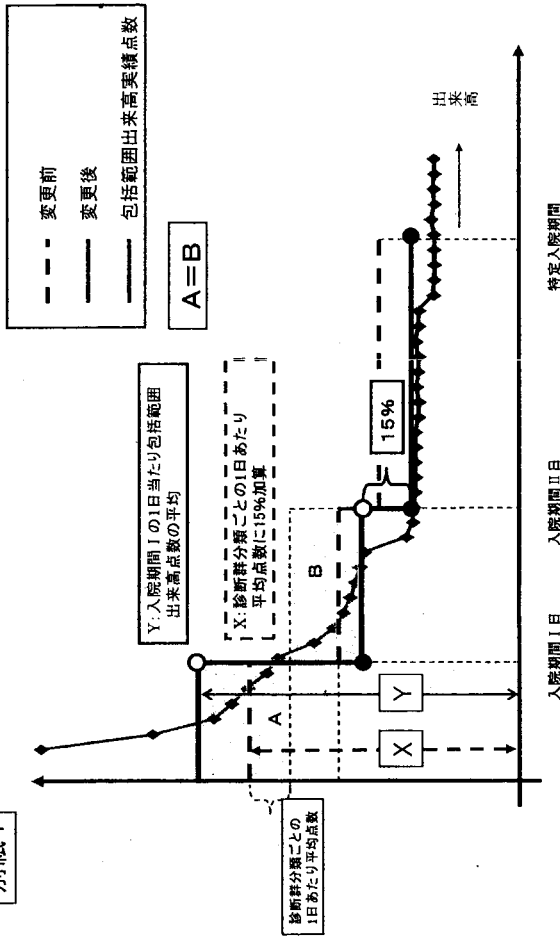


別紙2-②

050030xx99100x  
(急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞 手術なし 手術・処置等1 あり 手術・処置等2 なし 副傷病なし)

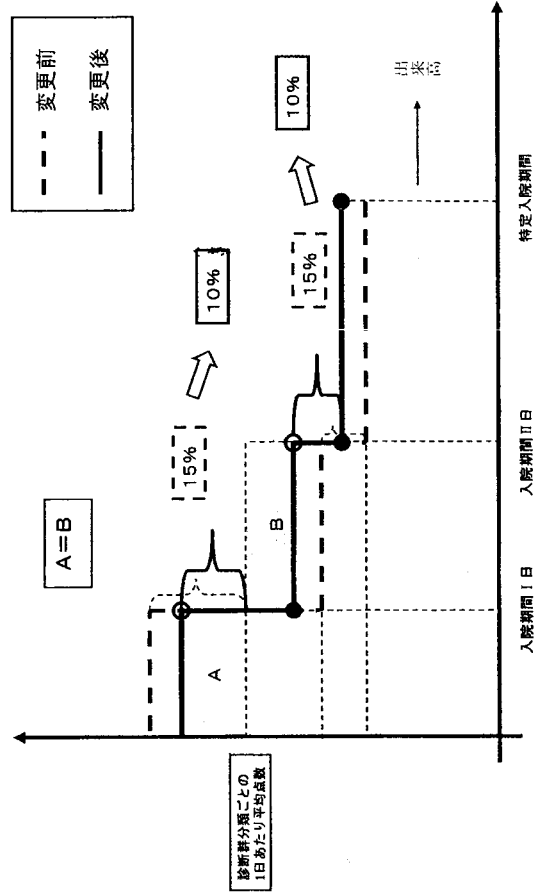


別紙4 診断群分類点数表の見直しについて



※ 入院期間Ⅰ日までの点数は、対象となる診断群分類の入院期間Ⅰ日までの1日当たり包括範囲出来高平均の平均により設定  
入院期間Ⅰ日からⅡ日及びⅡ日から特定入院期間までの点数は、入院期間Ⅰ日までの点数を基に、移行と同様に設定

別紙5 診断群分類点数表の見直しについて



別紙4

別紙5

診療組 D-3  
21.7.24

参考資料 1  
21.7.24

病院票

E・Fファイルの統合について

E・Fファイルについては、重複している入力項目が多くあり、2つのファイルを統合することとしてはどうか。

「平成21年度調査 新たな機能評価係数に係る特別調査」調査票  
(調査対象期間:平成21年7月27日(月)~8月2日(日)の7日間)

本調査票は病院票です。医療機関としての方針および体制について、ご回答をお願いします。

ファイル統合のイメージ

Fファイル		Eファイル	
No.	項目名	No.	項目名
F01	施設コード	E01	施設コード
F02	診療科別番号	E02	診療科別番号
F03	診療年月日	E03	診療年月日
F04	入院年月日	E04	入院年月日
F05	データ区分	E05	データ区分
F06	病棟番号	E06	病棟番号
F07	行為別番号	E07	行為別番号
F08	病院点検マスターコード	E08	病院点検マスターコード
F09	レセプト番号	E09	レセプト番号
F10	施設番号	E10	施設番号
F11	診療明細名称	E11	診療明細名称
F12	診療単位	E12	診療単位
F13	行為別番号	E13	行為別番号
F14	行為別材料	E14	行為別材料
F15	円点区分	E15	円点区分
F16	患者属性区分	E16	患者属性区分
F17	円点区分	E17	円点区分
F18	出来高実績点検	E18	出来高実績点検
F19	出来高包括フラグ	E19	出来高包括フラグ
F20	出来高包括フラグ	E20	出来高包括フラグ
F21	行為別点検	E21	行為別点検
F22	行為別点検	E22	行為別点検
F23	行為別点検	E23	行為別点検
F24	行為別点検	E24	行為別点検
F25	行為別点検	E25	行為別点検
F26	行為別点検	E26	行為別点検
F27	行為別点検	E27	行為別点検
F28	行為別点検	E28	行為別点検
F29	行為別点検	E29	行為別点検
F30	行為別点検	E30	行為別点検
F31	行為別点検	E31	行為別点検
F32	行為別点検	E32	行為別点検
F33	行為別点検	E33	行為別点検
F34	行為別点検	E34	行為別点検
F35	行為別点検	E35	行為別点検
F36	行為別点検	E36	行為別点検
F37	行為別点検	E37	行為別点検
F38	行為別点検	E38	行為別点検
F39	行為別点検	E39	行為別点検
F40	行為別点検	E40	行為別点検
F41	行為別点検	E41	行為別点検
F42	行為別点検	E42	行為別点検
F43	行為別点検	E43	行為別点検
F44	行為別点検	E44	行為別点検
F45	行為別点検	E45	行為別点検
F46	行為別点検	E46	行為別点検
F47	行為別点検	E47	行為別点検
F48	行為別点検	E48	行為別点検
F49	行為別点検	E49	行為別点検
F50	行為別点検	E50	行為別点検
F51	行為別点検	E51	行為別点検
F52	行為別点検	E52	行為別点検
F53	行為別点検	E53	行為別点検
F54	行為別点検	E54	行為別点検
F55	行為別点検	E55	行為別点検
F56	行為別点検	E56	行為別点検
F57	行為別点検	E57	行為別点検
F58	行為別点検	E58	行為別点検
F59	行為別点検	E59	行為別点検
F60	行為別点検	E60	行為別点検
F61	行為別点検	E61	行為別点検
F62	行為別点検	E62	行為別点検
F63	行為別点検	E63	行為別点検
F64	行為別点検	E64	行為別点検
F65	行為別点検	E65	行為別点検
F66	行為別点検	E66	行為別点検
F67	行為別点検	E67	行為別点検
F68	行為別点検	E68	行為別点検
F69	行為別点検	E69	行為別点検
F70	行為別点検	E70	行為別点検
F71	行為別点検	E71	行為別点検
F72	行為別点検	E72	行為別点検
F73	行為別点検	E73	行為別点検
F74	行為別点検	E74	行為別点検
F75	行為別点検	E75	行為別点検
F76	行為別点検	E76	行為別点検
F77	行為別点検	E77	行為別点検
F78	行為別点検	E78	行為別点検
F79	行為別点検	E79	行為別点検
F80	行為別点検	E80	行為別点検
F81	行為別点検	E81	行為別点検
F82	行為別点検	E82	行為別点検
F83	行為別点検	E83	行為別点検
F84	行為別点検	E84	行為別点検
F85	行為別点検	E85	行為別点検
F86	行為別点検	E86	行為別点検
F87	行為別点検	E87	行為別点検
F88	行為別点検	E88	行為別点検
F89	行為別点検	E89	行為別点検
F90	行為別点検	E90	行為別点検
F91	行為別点検	E91	行為別点検
F92	行為別点検	E92	行為別点検
F93	行為別点検	E93	行為別点検
F94	行為別点検	E94	行為別点検
F95	行為別点検	E95	行為別点検
F96	行為別点検	E96	行為別点検
F97	行為別点検	E97	行為別点検
F98	行為別点検	E98	行為別点検
F99	行為別点検	E99	行為別点検
F100	行為別点検	E100	行為別点検

一体化ファイル

施設コード(9桁)	施設名(入力する)

- 1. 救急医療の提供体制についてお聞きします。
- 問1 貴院の救急医療の提供体制について、各自治体で作成された医療計画における役割をお答えください。(平成21年7月27日現在)  
(選択肢より選択) (複数選択可)
  1. 初期救急 (休日・夜間急患センター等、初期救急医療を担う)
  2. 二次救急 (救急病院等、入院を要する救急医療を担う)
  3. 三次救急 (救命救急センター・高度救命救急センター等)
  4. その他 (自由記載: )
- 問2 問1で回答した救急医療提供体制は、輪番日ごとの対応ですか、それとも毎日提供している体制ですか。

提供体制 (選択肢より選択)	有/無
輪番日のみ対応	1. はい 2. いいえ

「1. はい」の場合  
平成21年7月における輪番日の  
日数(日数を記入)

日

- 「2. いいえ」の場合  
(選択肢より選択)
1. 毎日
  2. その他 (自由記載欄: )

問3 救急医療を提供している日について、救急医療の従事者数をお答えください。

(人数を入力)

職種	平日準夜			平日深夜			休日日中		
	専従	兼任	オンコール	専従	兼任	オンコール	専従	兼任	オンコール
医師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
看護師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
薬剤師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
放射線技師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
臨床検査技師	人	人	人	人	人	人	人	人	人
臨床工学技師	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※専従とは、各時間帯において、救急医療のみに従事している職員。

兼任とは、救急医療とその他の診療業務等を兼務している職員。なお、救急患者が来院した際に必要に応じて対応するが、救急病棟以外の病棟の直当も併せて担当している場合は、兼任とする。

※準夜とは午後6時から午後10時までの間、深夜とは午後10時から午前6時までの間、休日日中とは休日の午前8時から午後6時までの時間とする。

問4 各診療科の「あり」「なし」と、「あり」の場合には、救急医療を提供している日について、休日・時間外における救急医療の提供体制についてお答えください。

(選択肢より選択)

診療科	有/無	平日準夜	平日深夜	休日日中
救急部・科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
内科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
精神科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール

診療科	有/無	平日準夜	平日深夜	休日日中
神経科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
神経内科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
呼吸器科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
消化器科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
循環器科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
小児科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
外科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
整形外科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール

診療科	有/無	平日準夜	平日深夜	休日日中
形成外科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
脳神経外科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
呼吸器外科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
心臓血管外科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
小児外科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
皮膚科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
泌尿器科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
産婦人科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール

診療科	有/無	平日準夜	平日深夜	休日日中
産科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
婦人科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
眼科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
耳鼻咽喉科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
放射線科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
麻酔科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
心療内科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
アレルギー科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール

診療科	有/無	平日準夜	平日深夜	休日日中
リウマチ科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール
リハビリテーション科	0. なし 1. あり	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール	0. 対応なし 1. 専従 2. 兼任 3. オンコール

※専従とは、各時間帯において、救急医療のみに従事している職員。

兼任とは、救急医療とその他の診療業務等を兼務している職員。なお、救急患者が来院した際に必要に応じて対応するが、救急病棟以外の病棟の当直も併せて担当している場合は、兼任とする。

※準夜とは午後6時から午後10時までの間、深夜とは午後10時から午前6時までの間、休日日中とは休日の午前8時から午後6時までの時間とする。

問5 本調査対象期間中の救急患者数についてお答えください。  
(人数を入力)

区分	7/27(月)	7/28(火)	7/29(水)	7/30(木)	7/31(金)	8/1(土)	8/2(日)
初期救急患者数	人	人	人	人	人	人	人
二次救急患者数	人	人	人	人	人	人	人
三次救急患者数	人	人	人	人	人	人	人

※患者区分は以下のとおり

初期救急(外来): 入院を必要としない軽症者

二次救急(入院): 入院を必要とする中等症・重症患者

三次救急(入院): 生命危機が切迫している重篤患者

問6 救急車以外で来院した患者について、救急外来におけるトリアージ体制についてお聞きします。患者の病状により優先的に医師の診察を受けるべき患者を判断する機能がありますか。ある場合は、救急医療を提供している日について、その業務に従事している職員数を職種別にお答えください。

(平成21年7月27日現在)

救急外来におけるトリアージ体制 (選択肢より選択)	従事している職員数 (人数を入力)	
	1. あり	医師
	看護師	人
	その他(自由記載: )	)
2. なし		

問7 平成20年度1年間に交付された、救急医療に係る補助金の交付金額についてお答えください。交付されていない補助金については、「0円」を入力してください。なお、国公立病院の一般会計繰り入れの額については、除外して計算してください。

(金額を入力)

救急医療に係る補助金		交付金額
施設・ 設備経費	救命救急センター施設・設備整備事業	円
	休日夜間急患センター施設・設備整備事業	円
	病院群輪番制病院、共同利用型病院施設・設備整備事業	円
	小児救急医療拠点病院施設・設備整備事業	円
	小児初期救急センター施設・設備整備事業	円
	その他	円
人材確保	救急医療専門領域医師研修事業	円
	ヘリコプター等派乗医師等確保事業	円
	その他	円
運営費	救命救急センター運営事業	円
	ドクターヘリ導入促進事業	円
	共同利用型病院	円
	小児救急拠点病院運営事業	円
	小児救急医療支援事業	円
	その他	円
その他	救命救急士病院実習受入促進事業	円
	その他	円

■2. 診療ガイドラインを考慮した診療体制確保についてお伺いします。

問8 から問11は、DPC対象患者の診療に関して医療機関全体としての方針および体制を回答してください。  
診療科単位の方針および体制については、医師票(別票)に設問があります。

問8 病院で提供する医療の標準化を進めるため、取り組んでいることがあればお答えください。  
(選択肢より選択/複数選択可)

1. 診療ガイドラインの利用
2. 院内クリニカルパスの利用
3. その他(自由記載欄: )

問9 診療にあたり、どの程度診療ガイドラインを重視していますか。診療ガイドラインに対する病院としての考え方を教えてください。  
(選択肢より選択)

1. 病院として、診療ガイドラインに基づく診療を推奨している
2. 各診療科の責任者の判断に任せている ⇒ **★問9の2へ進む**
3. 特に考えてはいない
4. その他(自由記載欄: )

★問9の2

「2. 各診療科の責任者の判断に任せている」を選択した病院のみお答えください。

診療ガイドラインを重視している診療科があれば、具体的にお答えください。

(選択肢より選択/複数選択可)

01. 救急部・科
02. 内科
03. 精神科
04. 神経科
05. 神経内科
06. 呼吸器科
07. 消化器科
08. 循環器科
09. 小児科
10. 外科

11. 整形外科
12. 形成外科
13. 脳神経外科
14. 呼吸器外科
15. 心臓血管外科
16. 小児外科
17. 皮膚科
18. 泌尿器科
19. 産婦人科
20. 産科
21. 婦人科
22. 眼科
23. 耳鼻咽喉科
24. 放射線科
25. 麻酔科
26. 心療内科
27. アレルギー科
28. リウマチ科
29. リハビリテーション科
30. 把握していない

問10 診療ガイドラインに沿わない診療を行う場合、どのように診療の適否を判断しているかお答えください。

(選択肢より選択)

1. 病院が設置する委員会が適否を判断する
2. 複数の診療科によって開催されるカンファレンスで適否を判断する
3. 診療科毎のカンファレンスで適否を判断する
4. 担当医師が適否を判断する
5. 特に決めていない
6. その他(自由記載欄: )

問11 診療ガイドラインを院内の図書館等において、冊子等の紙媒体もしくはパソコン利用による電子媒体等で閲覧できる体制が整備できているかお答えください。

(選択肢より選択)

院内における 診療ガイドライン閲覧体制	0. 閲覧できる体制なし 1. 閲覧できる体制あり
------------------------	------------------------------



「1. 閲覧できる体制あり」の場合のみ回答

(選択肢より選択・複数選択可)

1. 職員が閲覧できる
2. 患者（家族含む）が閲覧できる
3. 一般の来院者（患者・患者家族以外）が閲覧できる

■3. 院内でのクリニカルパス利用状況についてお伺いします。

問12 から問15 は、医療者用クリニカルパスと患者用クリニカルパスについての質問ですのでご注意ください。

DPC 対象患者のクリニカルパス使用状況についてお答えください。

問12 院内で利用している、医療者用クリニカルパスの対象となる病名や治療法等の数をお答えください。(平成21年7月27日時点)

(数を入力)

医療者用クリニカルパスの数	件
---------------	---

※DPC 対象患者に係る医療者用クリニカルパスの数とする。

問13 実際に患者への説明に使用している、患者用クリニカルパスの対象となる病名や治療法等の数をお答えください。(平成21年7月27日時点)

(数を入力)

患者用クリニカルパスの数	件
--------------	---

※DPC 対象患者に係る患者用クリニカルパスの数とする。

■4. 人員配置とチーム医療についてお伺いします。

問16 平成21年7月の1ヶ月間に、医師と、看護師や看護師以外の専門職(薬剤師、管理栄養士、および社会福祉士)とのカンファレンスは、何回実施されていますか(予定を含む)。ただし、直接診療に関係するカンファレンスに限定します。

(回数を入力)

	医師と看護師によるカンファレンス		医師と看護師以外の専門職によるカンファレンス		医師、看護師、看護師以外の専門職によるカンファレンス	
	合計	回	合計	回	合計	回
病院全体の職員を対象としたカンファレンス合計実施回数						
診療科単位で実施されるカンファレンスの平均回数(1診療科当たり)	平均	回	平均	回	平均	回
病棟単位で実施されるカンファレンス平均実施回数(1病棟当たり)	平均	回	平均	回	平均	回

※診療科単位で実施されるカンファレンスと、病棟単位で実施されるカンファレンスが一致する場合は、診療科単位で実施されるカンファレンスに数え、重複計算しないこと。

※診療に直接関係するカンファレンスとは、研修目的等のカンファレンスを除く。

問17 以下の職種について、病院全体の職種毎職員数について、常勤、非常勤別にお答えください。

(人数を入力)

(平成21年7月27日時点)

職種	常勤	非常勤(常勤換算)
医師	人	人
看護師	人	人
薬剤師	人	人
管理栄養士	人	人
社会福祉士	人	人

※常勤換算とは、従事者の1週間の勤務時間/医療施設で定めている1週間の勤務時間。

問14 本調査期間中に入院した DPC 対象患者のうち、問12の医療者用クリニカルパス対象となった、おおむねの患者割合をお答えください。

(選択肢より選択)

0. 対象となった患者はいない
1. 2割未満(対象となった患者はいないを除く)
2. 2割以上4割未満
3. 4割以上6割未満
4. 6割以上8割未満
5. 8割以上

問15 本調査期間中に入院した DPC 対象患者のうち、問13の患者用クリニカルパスの対象となった、おおむねの患者割合をお答えください。

(選択肢より選択)

0. 対象となった患者はいない
1. 2割未満(対象となった患者はいないを除く)
2. 2割以上4割未満
3. 4割以上6割未満
4. 6割以上8割未満
5. 8割以上

問18 以下の職種について、本調査期間中における常勤および非常勤職員の延べ病棟勤務時間をお答えください。(時間を入力)

職種	延べ病棟勤務時間
薬剤師	時間
管理栄養士	時間
社会福祉士	時間

※延べ病棟勤務時間とは、各職種の職員の病棟勤務時間の合計を入力すること。

※病棟勤務時間とは、DPC 算定病床を有する病棟で入院患者(含む家族)に対し、直接行う指導等の時間、病棟での医師や看護師の支援業務、病棟患者に係るカンファレンスの時間等を含む。

※延べ病棟勤務時間とは、病棟外で行う入院患者のための調剤や調理の時間等は含まない。(なお、当該病棟の入院患者やその家族に直接面談している時間は、病棟外であっても含む。)

※回診の同行及び病棟における医師や看護師への医薬品情報の提供にかかる時間を含む。

問19 問17の常勤職員のうち、病棟に勤務している職員について、本調査期間中の職員数を病棟に勤務している割合別にお答えください。(人数を入力)

職種	各常勤職員の病棟に勤務している割合						
	なし	2割未満(なしを除く)	2割以上4割未満	4割以上6割未満	6割以上8割未満	8割以上10割未満	10割
薬剤師	人	人	人	人	人	人	人
管理栄養士	人	人	人	人	人	人	人
社会福祉士	人	人	人	人	人	人	人

※病棟に勤務している職員とは、DPC 算定病床を有する病棟で、勤務時間中に入院患者(含む家族)に対し、直接行う指導等や病棟での医師や看護師の支援業務、病棟患者に係るカンファレンス等を行っている職員のこと。

※病棟に勤務している割合とは、DPC 算定病床を有する病棟で、全勤務時間のうち入院患者(含む家族)に対し、直接行う指導等や病棟での医師や看護師の支援業務、病棟患者に係るカンファレンス等を行った時間の割合。

※病棟に勤務している割合とは、入院患者のため病棟外で行う調剤や調理の時間等は含まない。(なお、当該病棟の入院患者やその家族に直接面談している時間は、病棟外であっても含む。)

※回診の同行及び病棟における医師や看護師への医薬品情報の提供にかかる時間を含む。

病院票の調査は以上です。

「平成 21 年度調査 新たな機能評価係数に係る特別調査」調査票  
(調査対象期間:平成 21 年 7 月 27 日(月)~8 月 2 日(日)の 7 日間)

本調査票は、診療科の責任者が、所属する診療科に関してご記入ください。  
DPC 対象患者に係る診療行為についてお答えください。

■基本情報

施設コード(9 桁)									
施設名(入力する)									
回答者が所属している診療科(選択肢より選択)									
01. 救急部・科									
02. 内科									
03. 精神科									
04. 神経科									
05. 神経内科									
06. 呼吸器科									
07. 消化器科									
08. 循環器科									
09. 小児科									
10. 外科									
11. 整形外科									
12. 形成外科									
13. 脳神経外科									
14. 呼吸器外科									
15. 心臓血管外科									
16. 小児外科									
17. 皮膚科									
18. 泌尿器科									
19. 産婦人科									
20. 産科									
21. 婦人科									
22. 眼科									
23. 耳鼻咽喉科									
24. 放射線科									
25. 麻酔科									
26. 心療内科									

1/3

27. アレルギー科
28. リウマチ科
29. リハビリテーション科

■診療ガイドラインを考慮した診療体制確保についてお伺いします。

問1 ご自身の診療科に係る診療ガイドラインについて、診療科の医師の理解度をお答えください。(選択肢より選択)

- ほとんどの医師は、理解している
- 約半数の医師は、理解している
- ほとんどの医師は、理解していない

問2 診療ガイドラインを理解している医師について、どの程度診療ガイドラインを意図した診療を行っていますか。(選択肢より選択)

- ほとんどの医師は、診療ガイドラインに沿った診療を行っている
- 約半数の医師は、診療ガイドラインに沿った診療を行っている
- ほとんどの医師は、診療ガイドラインを意図した診療を行っていない
- 診療科として把握していない
- その他(自由記載欄: )

問3 貴科において、実際に参考としている診療ガイドラインはありますか。

(選択肢より選択・複数選択可)

- Minds(財団法人日本医療機能評価機構・医療情報サービス事業)
  - 参考としている
  - 参考としていない
- 日本の各専門学会が提供している診療ガイドライン
  - 参考としている
  - 参考としていない
- 海外で普及している診療ガイドライン
  - 参考としている
  - 参考としていない
- その他のガイドライン(自由記載欄: )
- 科として参考としているガイドラインはない
- その他(自由記載欄: )

2/3

問4 参考としている診療ガイドラインの選択基準についてお答えください。

(選択肢より選択)

- 病院としての選択基準を設けている
- 診療科における選択基準を設けている
- 選択基準はない
- その他(自由記載欄: )

問5 診療ガイドラインに沿わない診療を行う場合、どのように診療の適否を判断しているかお答えください。

(選択肢より選択)

- 病院が設置する委員会で適否を判断する
- 複数の診療科によって開催されるカンファレンスで適否を判断する
- 診療科内のカンファレンスで適否を判断する
- 担当医師が適否を判断する
- 特に決めていない
- その他(自由記載欄: )

問6 診療ガイドラインを患者の説明にどの程度使用していますか。

(選択肢より選択)

- 診療ガイドラインの記載された文書又はパンフレット等を用いて説明
- 診療ガイドラインの内容を口頭で説明
- 特に説明に用いることはない
- その他(自由記載欄: )

医師票の調査内容は以上です。